

公益財団法人大阪難病研究財団
医学研究助成・国際交流助成 研究成果報告書 執筆要領

1. 様式

- 1) Word 形式で A4 サイズを使用してください。
- 2) 本文は財団の指定するフォーマットに従い作成し、4～6 枚とします。
 - ・原則和文とします。
 - ・フォント 日本語（全角）：MS 明朝 / 英数字（半角）：Times New Roman
助成番号…9 ポイント
表題（研究課題名）…12 ポイント
本文、著者名等…10.5 ポイント
 - ・図表 図表を挿入する場合も上記枚数に含みます。図と表は合わせて計 5 点以内とし、カラーも可とします。
図表には本文中で引用される順番に通し番号（例：図 1、表 1）を付し、図の下および表の上に図表番号とタイトルを表記してください。必ず全ての図表を本文中で引用してください。
図は原稿に挿入してください（報告書は PDF としてホームページで公開する予定であるため、鮮明な図を使用してください）。表は Word の表機能を用いて作成してください。転載許諾を要する図表を用いる場合は、必ず事前に許諾を得たうえで使用してください。
 - ・ページ フォーマットに指定された文字数（40 文字）、行数（35 行）、余白（上 35 mm，下 30 mm，左右 30 mm）の設定を用いてください。
 - ・表記規則 「である」調を用いてご記載ください。句読点は「、」と「。」を用い、括弧は全角を使用してください。
原稿内で略語を用いる場合は、初出時に略語の定義をしてください。
特殊文字（ギリシャ文字、数学記号等）は Word の「記号と特殊文字」（フォント：Times New Roman）を用いて挿入してください。機種依存文字は使用しないでください。
 - ・表題 表題は応募時の研究課題名を記載してください。やむを得ず変更する場合は、事務局へ申し出た後、別途「研究課題変更申請書」を提出してください。
- 3) 報告書の構成
1. 諸言 2. 方法 3. 結果 4. 考察 5. 結語 6. 文献 7. 成果発表の項目に分けること
 - ・各項目を細分化する場合は中項目（例：1.1）、小項目（例：1.1.1）を使用してください。
- 4) 引用文献の記載
文献は本文で引用した順に上付き数字（例：¹⁾）で番号を付し、「6. 文献」に一括して記載してください。著者名は 6 名までは全員を表記し、7 名以降は省略して et al.（和文論文の場合は

「ほか」と記載してください。雑誌名の略称は医学中央雑誌収載誌目録および Index Medicus に従ってください。

・雑誌の場合

著者名. 論文名. 掲載誌名. 出版(刊)年; 巻数(号数): 開始ページ-終了ページ.

例: 1) 佐藤太郎, 田中一郎, 山本祥子, 太田隆, 高木豊, 鈴木譲ほか. 重症気管支喘息患者に対するバイオマーカーを用いた長期管理. 東呼吸誌. 2019; 23(1): 37-46.

2) Johnson JD, Moore JC, Davis MW, Scott HJ, Barnes AC, Smith FJ et al. Gene expression profile in patients with asthma. Gen Respir J. 2002; 163(2): 221-235.

・図書の場合

著者名. 書名. 版表示. 出版地: 出版社; 出版年. p.開始ページ-終了ページ.

例: 1) 田中一郎, 吉田次郎. 間質性肺疾患の診断と治療. 第2版. 東京: 医科出版; 2018. p.151-170.

2) Anderson JG, White AJ. Diagnosis and treatment of idiopathic diffuse interstitial pneumonia. 3rd edition. Boston: Med Press; 1983. p.960-983.

5) 成果発表の記載

「7.成果発表」には、本研究によって得られた研究成果を図書、雑誌論文、学会発表、その他に分けて記載してください。図書、雑誌論文の記載方法は「4) 引用文献の記載」と同じとします。

・学会発表の場合

発表者名. 演題名. 学会名. 開催場所. 発表年.

例: 太田一郎, 吉田次郎, 鈴木譲. 重症気管支喘息患者に対する長期管理の検討. 第23回西日本呼吸器学会. 大阪. 2020.

Ota I, Takaki Y, Yamamoto S. Comparative effectiveness of ICS/LAMA with ICS/LABA in patients with asthma-COPD overlap. 22th Asian Respiratory Congress. Kuala Lumpur. 2019.

2. 提出方法及び提出先

・研究成果報告書を含む全ての提出書類はメールに添付の上、下記提出先へ送信してください。

・提出書類およびデータ形式

① 研究成果報告書 [Word 形式および PDF 形式の2 データ]

② 同意書 [PDF 形式]

・研究成果の公表を一定期間差し控える箇所がある場合※の提出書類およびデータ形式

① 研究成果報告書 [Word 形式および PDF 形式の2 データ]

② Web サイト掲載用 研究成果報告書 [Word 形式および PDF 形式の2 データ]

③ 同意書 [PDF 形式]

④ 理由書 [PDF 形式]

※詳細は下部「5. 当財団 Web サイトへの掲載について」をご覧ください

・また、大学の奨学寄附金として助成金を受け取られた方以外は「助成金収支報告書」[PDF 形式]も併せてご提出ください。

<提出先>

公益財団法人大阪難病研究財団 事務局

E-mail : jimukyoku@nanbyo.or.jp

メール件名 :

「【研究代表者氏名または団体名】2020年度助成報告書類一式」

(個別で提出する場合は書類名)

3. 提出期限

・2021年5月14日(金) 必着

・やむを得ない事情で提出期限を過ぎる場合は事務局に申し出の上、「提出期限延長申請書」にて申請してください。

4. 校正

- ・執筆者の校正は原則として初校のみとし、2校以降は事務局へ一任となります。
- ・校正は Word で行います。応募時記載の E-mail にデータを添付して送信しますので、変更履歴の記録を ON にした状態で修正・追記をお願いいたします。
- ・校正依頼メールの受信後は、1週間以内に事務局担当宛てに必ずご返送ください。

5. 当財団 Web サイトへの掲載について

- ・本報告書は当財団の Web サイト (<https://nanbyo.or.jp/>) へ掲載いたします。別紙「Web サイト掲載に関する同意書」をご提出ください。
- ・研究成果の公表を一定期間差し控える必要がある箇所があり、原稿を掲載できない場合は、原稿とは別に Web サイト掲載用(該当箇所を伏せる等して公開しても差し支えない内容のもの)の報告書とあわせて 2つの報告書を作成しご提出いただきます。全ての内容が掲載可能になりましたら速やかに事務局までご連絡ください。必要に応じて校正をし、差し替えを行います。

6. その他

- ・本助成金による研究成果を発表するときは「公益財団法人大阪難病研究財団」(英文は The Osaka Medical Research Foundation for Intractable Diseases) の助成による旨を書き添えてください。
- ・助成期間中に応募時の研究課題から変更が生じた際は速やかに事務局まで申し出てください。承認が必要になりますので、変更理由と変更後の研究概要書をご提出いただきます。承認が下りるまで助成金の支出は停止してください。様式は Web サイトからダウンロードし、必要事項を入力、PDF 化した後メール添付してお送りください。追って事務局より連絡申し上げます。
(メール件名 : 【研究代表者氏名または団体名】2020年度研究課題変更申請書)
- ・応募時の所属先、連絡先(メールアドレス含む)が変更になる場合は必ず事務局までご連絡ください。

6.文献

- 1) 著者名. 論文名. 掲載誌名. 出版（刊）年; 巻数(号数): 開始ページ-終了ページ.
- 2) 著者名. 書名. 版表示. 出版地: 出版社; 出版年. p.開始ページ-終了ページ.

コメントの追加 [Z20]: 雑誌の場合。

コメントの追加 [Z21]: 図書の場合

7.成果発表

図書

- ・ 著者名. 書名. 版表示. 出版地: 出版社; 出版年. p.開始ページ-終了ページ.

雑誌論文

- ・ 著者名. 論文名. 掲載誌名. 出版（刊）年; 巻数(号数): 開始ページ-終了ページ.

学会発表

- ・ 発表者名. 演題名. 学会名. 開催場所. 発表年.

その他

・